

情報リテラシー（第4回）

情報社会の法規と権利

授業の目的

- 加害者・被害者の両方の立場を考え，行動指針を身につける
- 情報を正しく扱うために必要な注意点を学ぶ

知的財産と著作権意識

- ネット上の画像，音楽，文章にも著作権がある
- 「ネットにある＝自由に使っていい」わけではない
- 利用前に「利用規約」や「ライセンス条件」を確認することが大切

演習①：どの権利にあたる？

次の例はどの権利に当てはまる？（特許・実用新案・意匠・商標）

1. 靴に新しいクッション機構を発明
2. シャーペンの芯を折れにくくする小さな仕組み
3. スマホの外観デザイン（曲線デザインなど）
4. ファストフード店のロゴマーク

 記入してみよう！

【回答】 演習①

1. 特許権
2. 実用新案権
3. 意匠権
4. 商標権

☒ それぞれの権利の対象をしっかりと区別できた？

情報公開の責任

- ネットでの発信は，情報が想像以上に広がる可能性がある
- 発信前に「本当に公開してよいか」を考える態度が重要

演習②：投稿情報の拡散による被害を防ぐには？

▶ 指示されたほうを書こう！

- 加害者にならないために注意すること
- 被害者にならないために注意すること

✍️ 自分の言葉でまとめよう！

【回答例】 演習②

■ 加害者にならないため

- 個人情報や誤解を招く内容をむやみに発信しない
- 他人を傷つけるような投稿をしない

■ 被害者にならないため

- 個人情報を含む投稿を控える
- 公開範囲を限定する（友達のみなど）

✅ ネット投稿の影響を意識しよう！

個人情報を守り方

- 氏名，住所，電話番号，学校名などの個人情報は非常に重要
- 自分の情報だけでなく，他人の情報も慎重に扱おう

個人情報を狙う脅威

- **フィッシング詐欺**：偽サイトやメールでだます
- **キーロガー**：キーボード入力を盗み見るウイルス
- **スパイウェア**：PC内の情報を密かに送信するプログラム

 理解できたことや気づいたことをメモしよう！

演習③：個人情報流出の加害者や被害者にならないためには？

▶ 指示されたほうを書こう！

- 加害者にならないために注意すること
- 被害者にならないために注意すること

✍ 自分の言葉でまとめよう！

【回答例】 演習③

■ 加害者にならないため

- 他人の個人情報を無断で公開しない
- 個人情報を含むファイルを不用意に共有しない

■ 被害者にならないため

- パスワードを強化する
- 怪しいサイトやメールを開かない

✅ 日常的に注意しよう！

今日のキーワード確認（穴埋め）

キーワード	説明（_____）
知的財産	アイデアや作品などの_____
著作権	他人が作った作品を_____し，守る権利
情報公開の責任	ネット発信には_____が伴う
個人情報	氏名・住所など_____できる情報
オプトイン	本人が_____して同意する方法
オプトアウト	本人が_____して拒否する方法

【回答】 キーワード確認

キーワード	説明
知的財産	アイデアや作品などの創作物
著作権	他人が作った作品を保護し，守る権利
情報公開の責任	ネット発信には責任が伴う
個人情報	氏名・住所など個人を特定できる情報
オプトイン	本人が申し込んで同意する方法
オプトアウト	本人が解除して拒否する方法

今日のふりかえり

- 著作権や知的財産の大切さを理解できたか？
- 情報公開に伴うリスクを意識できたか？
- 個人情報を守る行動がイメージできたか？

 今日の学びや感想を書こう！